

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床栄養学Ⅳ	3年次	必修	講義	2単位（30時間）	大友 崇 ※
授 業 概 要					
<p>呼吸系、ICU対応疾患、高齢期、血液、免疫系（アレルギー、膠原病）、筋・骨・歯科、摂食障害などの疾患に対し適切な栄養管理を行うために臨床栄養学の総合的なマネジメントに基づいて学ぶ。</p> <p>各病態や栄養状態の特徴を病態生理として学ぶ。</p> <p>患者個々に適した適切な栄養管理を行うために実施すべき栄養食事療法を具体的に学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の病態、栄養状態について説明ができる。 ・疾患に必要な栄養・治療アセスメントを呈示することができ、評価ができる。 ・各疾患に対して適した食品・調理形態・サプリメントの活用など提案できる。 					
実務経験のある教員					
大友 崇：病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	病院栄養士の業務、呼吸器系の病態生理				大友 崇 ※
2	呼吸器系の疾患				
3	呼吸器系の疾患に対する栄養食事療法				
4	クリティカルケア・感染症の病態生理				
5	クリティカルケア・感染症の栄養療法				
6	高齢期疾患の病態生理①				
7	高齢期疾患の病態生理②				
8	高齢期疾患の栄養食事療法				
9	アレルギーの病態生理と栄養食事療法				
10	自己免疫疾患の病態生理・栄養食事療法				
11	内分泌疾患の病態生理と栄養食事療法				
12	摂食障害の栄養食事療法				
13	医療保険（診療報酬）と介護保険				
14	栄養評価と報告書の作成				
15	まとめ				
学 習 方 法					
<p>教科書で予習をし、わからない単語など事前に調べておくこと。</p> <p>月曜テストに対しては事前の学習は勿論のこと、実施後においても再度学習し確実な知識を習得すること。</p> <p>疑問点は進んで自ら調べ、教科担当に確認し正しい知識としておくこと。</p>					
評 価 方 法					
<p>[評価方法]</p> <p>科目修了試験 80%、月曜テスト 20%で総合評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>最第4版 最新臨床栄養学 栄養治療の基礎と実際，上原誉志男他編，株式会社光生館</p> <p>臨床栄養教育 トレーニングテキスト，症例から学ぶ栄養ケア，本田佳子編，医歯薬出版株式会社</p>					